

資料⑦：令和5年度定期点検結果（No. 17関係）

所在施設名		東松山ぼたん園		管理番号	住所	東松山市大谷1148-1
				01		
点検社	株式会社塙製作所			点検日	2023年5月12日	
点検者	公園施設製品安全管理士 塙 保仁(1090064)			確認者	公園施設製品安全管理士 齋藤 伸晃(1100018)	
管理番号	製 品 名	機能判定			特 記 事 項	塗装判定
		総合判定	使用	劣化 ハザード		
0 1	児童用複合遊具	B	可	b 2	基礎が一部露出。チューブスライダーの支柱地際が腐食。	B
0 2	幼児用複合遊具	B	可	b 0	チューブスライダーの支柱地際が腐食。	B
0 3	まりぼん	A	可	a 0	特に問題なし。	A

(総合判定基準)

A：健全であり、修繕の必要がない（使用可）

B：軽微な異常があり、経過観察が必要（使用可）

C：異常があり、修繕又は対策が必要（修繕完了まで使用不可、場合により使用可）

D：危険性の高い異常があり、緊急修繕が必要または、破棄し更新を検討（使用不可）

複 合 遊 具 定 期 点 検 表

11730120

(写真No. 1, 2, 3, 4)

管理番号

01

製品名	児童用複合遊具	所在 施設名	東松山ぼたん園	住所	東松山市大谷1148-1		
点検社	株式会社塙製作所			点検日	2023年5月12日		
点検者	安全管理士 塙 保仁(1090064)			確認者	安全管理士 齋藤 伸晃(1100018)		
製造社	タカオ株式会社	S P 表示シール	(有) ・ 無	製品番号	G-43008		
設置年月	2017年2月1日		経過年月	6 年 3 月	落下高さ	1,600 mm	
構造部材 1	スチール	構造部材 2	プラスチック	消耗部材	ケーブル	ネット	
対象年齢シール	(有) ・ 無	対象年齢	1 歳～3 歳 ・ 3 歳～6 歳 ・ 3 歳～12 歳 ・ (6 歳～12 歳) ・ 大人				
Ⅰ. 機能に関する総合判定				Ⅱ. 塗装に関する総合判定			
使用継続	A : 健全であり、修繕の必要がない (B) : 軽微な異常があり、経過観察が必要 C : 異常があり、修繕又は対策が必要 D : 危険性の高い異常があり、緊急修繕が必要または、破棄し更新を検討			A : 健全な状態 (B) : 部分的に塗装剥離があり、経過観察が必要な状態 C : 全体的に塗装剥離があり、再塗装が必要な状態 - : 対象無し			
可							
ハザード	0 : 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1 : 軽度の傷害をもたらすハザードがある状態 (2) : 重大であるが恒久的ではない傷害をもたらすハザードがある状態 3 : 生命に危険、あるいは重度の恒久的な障害をもたらすハザードがある状態			劣 化	a : 健全な状態 (b) : 軽微な劣化がある状態 c : 修繕の必要な劣化がある状態 d : 緊急修繕が必要な劣化がある状態		
特記事項	基礎が一部露出しているため、盛り土などでの保護が必要です。チューブスライダーの支柱地際で腐食が始まっています。						

【安全領域】

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上。半分領域重複可	メジャー	2 (合) ・ 否	5	1900mm
すべり台 滑り降り口方向は2,000mm以上。全領域重複不可	メジャー	2 (合) ・ 否	6,7,8	2000mm以上
上部空間、落下高さ600mm以下 (1,500mm) 600mm超え (1,800mm)	メジャー	1 (合) ・ 否		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 (合) ・ 否		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 (合) ・ 否		

【動線】

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
動線および動線エリアの交差はないか	目視	3 (合) ・ 否		
足がかりや落下した際の障害物はないか	目視	2 (合) ・ 否		
通行要素で足(踵)を挟み込むような 30mmを超える隙間はないか	目視	2 (合) ・ 否		

【規準一般規定】 劣化点検のみの場合でも、劣化に伴う規準不適合項目がある場合は特記事項等で報告すること。

①頭部・胴体の挟み込み

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
頭部・胴体の挟み込み (100～230mm)	器具 A・B	2 (合) ・ 否		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具 A・B	3 (合) ・ 否		

②頭部または首の挟み込み

頭部または首の挟み込み (V字型開口部)	器具 A・B	3 (合) ・ 否		
----------------------	--------	-----------	--	--

③指の挟み込み

指の挟み込み (φ8～25mm)	器具 E	2 (合) ・ 否		
------------------	------	-----------	--	--

④絡まり・引っ掛かり

絡まり・引っ掛かり (突出部や隙間)	目視	2 (合) ・ 否		
--------------------	----	-----------	--	--

⑤衝突・転倒

衝突・転倒 (突出部や段差)	目視	1 (合) ・ 否		
衝突・転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 (合) ・ 否		

⑥ボルトナット類による突起

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
引っ掛かり防止対策	目視	1 (合) ・ 否		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 (合) ・ 否		

⑦鋭利な尖端・角・縁

鋭利な尖端・角・縁	目視・触診	1 (合) ・ 否		
-----------	-------	-----------	--	--

⑧転落・落下

落下防止柵 700mm以上（踊場高さ2,000mm以下）	メジャー	2 (合) ・ 否		810mm
落下防止柵1,100mm以上（踊場高さ2,000mm超え）	メジャー	2 (合) ・ 否		1400mm
手すり子の形状	目視	2 (合) ・ 否		
手すり子のスキマ（100mm未満）	器具B	2 (合) ・ 否		80～90mm

⑨階段・はしご(共通)

傾斜（90°）横棒はしご（75°）踏板はしご（50°）階段（15°）	傾斜計			
落下高さ（幼児用）2,000mm以下（児童用）3,000mm以下	メジャー	2 (合) ・ 否		1600mm
段差間には頭部・胴体の挟み込みがない	器具A・B	2 (合) ・ 否		
手すり子には頭部・胴体の挟み込みがない	器具A・B	2 (合) ・ 否		

⑨横棒はしご

横棒の長さ（幼児用）300mm以上（児童用）400mm以上	メジャー	1 (合) ・ 否		510mm
直径（幼児用）φ20～40mm（児童用）φ20～50mm	ノギス	1 (合) ・ 否		φ27.2mm
段差（幼児用）305mm以下（児童用）305mm以下	メジャー	2 (合) ・ 否		300mm

⑨階段

奥行（幼児用）170mm以上（児童用）170mm以上（板有・無）	メジャー	1 (合) ・ 否		175mm
踏み板の長さ（幼児用）300mm以上（児童用）400mm以上	メジャー	1 (合) ・ 否		700mm
段差（幼児用）220mm以下（児童用）305mm以下	メジャー	2 (合) ・ 否		200mm
手すり高さ（幼児用）500～800mm（児童用）500～800mm	メジャー	1 (合) ・ 否		520mm

⑩救助対策

救助対策	目視	1 (合) ・ 否		
------	----	-----------	--	--

⑪基礎の設計

基礎の設計（基礎の天端 土かぶり100mm以上）	メジャー	1 合 ・ (否)	9	露出
基礎の露出がないこと	目視	2 合 ・ (否)		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具A	3 (合) ・ 否		

【規準一般規定】

落下高さは、児童用では3,000mm以下	メジャー	3 (合) ・ 否		1600mm
----------------------	------	-----------	--	--------

【劣化】

支柱部

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか（地際部附近）	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)	10,11	
腐食がないか（地際部附近以外）	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)		
ぐらつきがないか	揺診	a) ・ b) ・ c) ・ d)		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a) ・ b) ・ c) ・ d)		

梁部

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか（金具附近）	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)	12	
腐食がないか（金具附近以外）	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a) ・ b) ・ c) ・ d)		

手すり・柵部

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか	目視・打診	a) ・ (b) ・ c) ・ d)	13,14	
ぐらつきがないか	揺診	a) ・ b) ・ c) ・ d)		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a) ・ b) ・ c) ・ d)		

床部

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか	目視・打診	a・(b)・c・d	15,16	サビ
摩耗・へこみがないか	目視・触診	a・(b)・c・d		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	(a)・b・c・d		

登行部

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか（地際部附近）	目視・打診	(a)・b・c・d	17,18,19	
腐食がないか（ササラ・手すり）	目視・打診	(a)・b・c・d	20	
腐食・摩耗がないか（踏板）	目視・打診	a・(b)・c・d	21,22	サビ
ぐらつきがないか	揺診	(a)・b・c・d		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	(a)・b・c・d		

継手金具

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか	目視・打診	(a)・b・c・d	23	
ボルトの緩みがないか	打診・触診	(a)・b・c・d		
破損・割れ（破損・割れ 0 ケ所）	目視	(a)・b・c・d		

プラスチック系部材

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
摩耗がないか	目視	a・(b)・c・d	24,25	
変色がないか	目視	(a)・b・c・d		
止め金具が緩んでないか	触診・聴診	(a)・b・c・d		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	(a)・b・c・d		

ロープ・ネット部

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
摩耗・断線・ほつれがないか	目視	a・(b)・c・d	26,27	
止め金具が緩んでないか（全数の10%）	触診	(a)・b・c・d		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	(a)・b・c・d		

ワイヤーロープ

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
摩耗・腐食がないか（締結部附近）	目視	(a)・b・c・d	28,29	
摩耗・腐食がないか（締結部附近以外）	目視	(a)・b・c・d	30	
止め金具が緩んでないか	触診	(a)・b・c・d		
破損（破損 0 ケ所）	目視	(a)・b・c・d		

基礎部・着地面部

ぐらつきがないか	揺診	(a)・b・c・d		
衝撃吸収材などの破損（破損 0 ケ所）	目視	(a)・b・c・d		

滑降部 チューブスライダー（大）

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか（地際部附近）（全数点検）	目視・打診	(a)・b・c・d	31	
腐食がないか（滑降面・側面）（全数点検）	目視・打診	(a)・b・c・d	32	
摩耗がないか（滑降面・側面）	目視	a・(b)・c・d	33	
破損など（破損 0 ケ所）	目視	(a)・b・c・d		

基礎部・着地面部 チューブスライダー（大）

ぐらつきがないか（全数点検）	揺診	(a)・b・c・d		
衝撃吸収材などの破損（破損 0 ケ所）	目視	(a)・b・c・d		

滑降部 ワイドスライダー

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか（地際部附近）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d	34	
腐食がないか（滑降面・側面）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d	35	
摩耗がないか（滑降面・側面）	目視	a・b・c・d		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		

基礎部・着地面部 ワイドスライダー

ぐらつきがないか（全数点検）	揺診	a・b・c・d		
衝撃吸収材などの破損（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		

基礎部・着地面部 チューブスライダー（小）

衝撃吸収材などの破損（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		
---------------------	----	---------	--	--

滑降部 チューブスライダー（小）

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか（地際部附近）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d	38,39	腐食
腐食がないか（滑降面・側面）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d	37	
摩耗がないか（滑降面・側面）	目視	a・b・c・d		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		

基礎部・着地面部 チューブスライダー（小）

ぐらつきがないか（全数点検）	揺診	a・b・c・d		
衝撃吸収材などの破損（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		

滑降部 ローラーすべり台

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか（地際部附近）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d		
腐食がないか（滑降面・側面）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d	40	
摩耗がないか（滑降面・側面）	目視	a・b・c・d		
ローラーは異音がしないか（全数点検）	触診	a・b・c・d		
ローラーは回転不良がないか（全数点検）	触診	a・b・c・d		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		

基礎部・着地面部 ローラーすべり台

ぐらつきがないか（全数点検）	揺診	a・b・c・d		
----------------	----	---------	--	--

【規準】

通行要素

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
隣り合った踊り場間の段差は児童用305mm以下	メジャー	2 合・否		
上段踊り場から下段踊り場の落下防止柵等へ容易に登れない高さ・構造とする	目視	2 合・否		

屋根部

屋根に容易に登れない構造とする	目視	3 合・否	41	
-----------------	----	-------	----	--

出発部 チューブスライダー（大）

滑降部と同幅以上、奥行300mm以上の水平部がある	メジャー	1 合・否		
出発部と滑降部との継ぎ目は有害な隙間のないこと	目視	3 合・否		

滑降部 チューブスライダー（大）

安全な滑降姿勢が維持でき、確実に着地できる構造	目視	2 合・否		
傾斜角度は45°（60°）以下とし、平均で35°以下とする	傾斜計	2 合・否		
カーブの場合はバンク等の飛び出し防止対策がある	傾斜計	2 合・否		
トンネル等の形式では上部に容易に登れないような配慮	目視	1 合・否		

滑降面 チューブスライダー（大）

安全を阻害するようなへこみや突起物などがいないこと	触診	2 合・否		
利用による摩耗及び衝撃に十分耐えられるものとする	目視	1 合・否		
継ぎ目が生じる時は、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2 合・否		
チューブ形状は短径580mm以上とする	メジャー	1 合・否	42	800mm

側壁 チューブスライダー (大)

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
継ぎ目が生じる時は、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2 (合) ・ 否		
内面は安全を阻害するようなへこみや突起物などがないこと	触診	2 (合) ・ 否		

減速部 チューブスライダー (大)

減速部の長さは安全に着地できる長さとする	メジャー	2 (合) ・ 否		
減速部の末端は丸みをつけるか、曲面で仕上げる	目視	2 (合) ・ 否	43	
傾斜変化部の曲率半径は、R = 750mm以上とする	器具C	1 (合) ・ 否		
着地面から終端上端部までの高さは児童用150～380mm	メジャー	1 (合) ・ 否	44	160mm

出発部 ワイドスライダー

滑降部と同幅以上、奥行300mm以上の水平部がある	メジャー	1 (合) ・ 否		
着座姿勢に導くガイドバーを設ける (落下高さ> 600の時)	目視	2 (合) ・ 否	45	
出発部と滑降部との継ぎ目は有害な隙間のないこと	目視	3 (合) ・ 否	46	

滑降部 ワイドスライダー

安全な滑降姿勢が維持でき、確実に着地できる構造	目視	2 (合) ・ 否		
傾斜角度は45° (60°) 以下とし、平均で35°以下とする	傾斜計	2 (合) ・ 否		

滑降面 ワイドスライダー

安全を阻害するようなへこみや突起物などがないこと	触診	2 (合) ・ 否		
利用による摩耗及び衝撃に十分耐えられるものとする	目視	1 (合) ・ 否		
継ぎ目が生じる時は、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2 (合) ・ 否		
有効幅は、幼児用300mm以上、児童用360mm以上	器具C	1 (合) ・ 否	47	1380mm

側壁 ワイドスライダー

落下高さ> 1,500mm、側壁の高さは150mm以上	器具C	2 (合) ・ 否	48	150mm以上
継ぎ目が生じる時は、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2 (合) ・ 否		
内面は安全を阻害するようなへこみや突起物などがないこと	触診	2 (合) ・ 否		

減速部 ワイドスライダー

減速部の長さは安全に着地できる長さとする	メジャー	2 (合) ・ 否		
減速部の末端は丸みをつけるか、曲面で仕上げる	目視	2 (合) ・ 否	49	
傾斜変化部の曲率半径は、R = 750mm以上とする	器具C	1 (合) ・ 否	50	
着地面から終端上端部までの高さは児童用150～380mm	メジャー	1 (合) ・ 否	51	180mm

出発部 チューブスライダー (小)

滑降部と同幅以上、奥行300mm以上の水平部がある	メジャー	1 (合) ・ 否		
出発部と滑降部との継ぎ目は有害な隙間のないこと	目視	3 (合) ・ 否	52	

滑降部 チューブスライダー (小)

安全な滑降姿勢が維持でき、確実に着地できる構造	目視	2 (合) ・ 否		
傾斜角度は45° (60°) 以下とし、平均で35°以下とする	傾斜計	2 (合) ・ 否		
カーブの場合はバンク等の飛び出し防止対策がある	傾斜計	2 (合) ・ 否		
トンネル等の形式では上部に容易に登れないような配慮	目視	1 (合) ・ 否		

滑降面 チューブスライダー (小)

安全を阻害するようなへこみや突起物などがないこと	触診	2 (合) ・ 否		
利用による摩耗及び衝撃に十分耐えられるものとする	目視	1 (合) ・ 否		
継ぎ目が生じる時は、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2 (合) ・ 否		
チューブ形状は短径580mm以上とする	メジャー	1 (合) ・ 否	53	780mm

側壁 チューブスライダー (小)

継ぎ目が生じる時は、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2 (合) ・ 否		
内面は安全を阻害するようなへこみや突起物などがないこと	触診	2 (合) ・ 否		

減速部 チューブスライダー (小)

減速部の長さは安全に着地できる長さとする	メジャー	2 (合) ・ 否		
減速部の末端は丸みをつけるか、曲面で仕上げる	目視	2 (合) ・ 否	54	
傾斜変化部の曲率半径は、R = 750mm以上とする	器具C	1 (合) ・ 否	55	
着地面から終端上端部までの高さは児童用150～380mm	メジャー	1 (合) ・ 否	56	180mm

出発部 ローラーすべり台

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
滑降部と同幅以上、奥行300mm以上の水平部がある	メジャー	1 (合) ・ 否		
着座姿勢に導くガイドバーを設ける（落下高さ>600の時）	目視	2 (合) ・ 否	57	
出発部と滑降部との継ぎ目は有害な隙間のないこと	目視	3 (合) ・ 否	58	

滑降部 ローラーすべり台

安全な滑降姿勢が維持でき、確実に着地できる構造	目視	2 (合) ・ 否		
傾斜角度は45°（60°）以下とし、平均で35°以下とする	傾斜計	2 (合) ・ 否		
カーブの場合はバンク等の飛び出し防止対策がある	傾斜計	2 (合) ・ 否		

滑降面 ローラーすべり台

安全を阻害するようなへこみや突起物などがないこと	触診	2 (合) ・ 否		
利用による摩耗及び衝撃に十分耐えられるものとする	目視	1 (合) ・ 否		
継ぎ目が生じる時は、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2 (合) ・ 否		
有効幅は、幼児用300mm以上、児童用360mm以上	器具C	1 (合) ・ 否	59	360mm以上

側壁 ローラーすべり台

落下高さ>1,500mm、側壁の高さは150mm以上	器具C	2 (合) ・ 否	60	150mm以上
継ぎ目が生じる時は、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2 (合) ・ 否		
内面は安全を阻害するようなへこみや突起物などがないこと	触診	2 (合) ・ 否		

減速部 ローラーすべり台

減速部の長さは安全に着地できる長さとする	メジャー	2 (合) ・ 否		
減速部の末端は丸みをつけるか、曲面で仕上げる	目視	2 (合) ・ 否	61	
傾斜変化部の曲率半径は、R=750mm以上とする	器具C	1 (合) ・ 否	62	
着地面から終端上端部までの高さは児童用150～380mm	メジャー	1 (合) ・ 否	63	230mm

複 合 遊 具 定 期 点 検 表

11730120

(写真No. 1, 2, 3, 4)

管理番号

02

製品名	幼児用複合遊具	所在 施設名	東松山ぼたん園	住所	東松山市大谷1148-1		
点検社	株式会社塙製作所			点検日	2023年5月12日		
点検者	安全管理士 塙 保仁(1090064)			確認者	安全管理士 齋藤 伸晃(1100018)		
製造社	タカオ株式会社	S P 表示シール	(有) ・ 無	製品番号	G-43009		
設置年月	2017年12月1日		経過年月	5 年 5 月	落下高さ	1,150 mm	
構造部材 1	スチール	構造部材 2	プラスチック	消耗部材	ネット		
対象年齢シール	(有) ・ 無	対象年齢	1 歳～3 歳 ・ 3 歳～6 歳 ・ 3 歳～1 2 歳 ・ 6 歳～1 2 歳 ・ 大人				
Ⅰ. 機能に関する総合判定				Ⅱ. 塗装に関する総合判定			
使用継続	A : 健全であり、修繕の必要がない (B) : 軽微な異常があり、経過観察が必要 C : 異常があり、修繕又は対策が必要 D : 危険性の高い異常があり、緊急修繕が必要または、破棄し更新を検討			A : 健全な状態 (B) : 部分的に塗装剥離があり、経過観察が必要な状態 C : 全体的に塗装剥離があり、再塗装が必要な状態 - : 対象無し			
ハザード	① : 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1 : 軽度の傷害をもたらすハザードがある状態 2 : 重大であるが恒久的ではない傷害をもたらすハザードがある状態 3 : 生命に危険、あるいは重度の恒久的な障害をもたらすハザードがある状態			劣 化	a : 健全な状態 (b) : 軽微な劣化がある状態 c : 修繕の必要な劣化がある状態 d : 緊急修繕が必要な劣化がある状態		
特記事項	チューブスライダーの支柱地際で腐食が始まっています。						

【安全領域】

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上。全領域重複可	メジャー	1 (合) ・ 否	5,6	2000mm以上
すべり台 滑り降り口方向は2,000mm以上。全領域重複不可	メジャー	2 (合) ・ 否	7	2000mm以上
上部空間、落下高さ600mm以下 (1,500mm) 600mm超え (1,800mm)	メジャー	1 (合) ・ 否		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 (合) ・ 否		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 (合) ・ 否		

【動線】

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
動線および動線エリアの交差はないか	目視	3 (合) ・ 否		
足がかりや落下した際の障害物はないか	目視	2 (合) ・ 否		

【規準一般規定】 劣化点検のみの場合でも、劣化に伴う規準不適合項目がある場合は特記事項等で報告すること。

①頭部・胴体の挟み込み

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
頭部・胴体の挟み込み (100～230mm)	器具 A ・ B	2 (合) ・ 否		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具 A ・ B	3 (合) ・ 否		

②頭部または首の挟み込み

頭部または首の挟み込み (V字型開口部)	器具 A ・ B	3 (合) ・ 否		
----------------------	----------	-----------	--	--

③指の挟み込み

指の挟み込み (φ8～25mm)	器具 E	2 (合) ・ 否		
------------------	------	-----------	--	--

④絡まり・引っ掛かり

絡まり・引っ掛かり (突出部や隙間)	目視	2 (合) ・ 否		
--------------------	----	-----------	--	--

⑤衝突・転倒

衝突・転倒 (突出部や段差)	目視	1 (合) ・ 否		
衝突・転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 (合) ・ 否		

⑥ボルトナット類による突起

引っ掛かり防止対策	目視	1 (合) ・ 否		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 (合) ・ 否		

⑦鋭利な尖端・角・縁

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
鋭利な尖端・角・縁	目視・触診	1 (合) ・ 否		

⑧転落・落下

落下防止柵 700mm以上（踊場高さ2,000mm以下）	メジャー	2 (合) ・ 否		900mm
手すり子の形状	目視	2 (合) ・ 否		
手すり子のスキマ（100mm未満）	器具B	2 (合) ・ 否		90mm

⑨踏み板はしご

奥行（幼児用）170mm以上（児童用）75mm以上（板無）	メジャー	1 (合) ・ 否		170mm
踏み板の長さ（幼児用）300mm以上（児童用）400mm以上	メジャー	1 (合) ・ 否		440mm
段差（幼児用）220mm以下（児童用）305mm以下	メジャー	2 (合) ・ 否		180mm
手すり高さ（幼児用）500～800mm（児童用）500～800mm	メジャー	1 (合) ・ 否		500mm

⑩救助対策

救助対策	目視	1 (合) ・ 否		
------	----	-----------	--	--

⑪基礎の設計

基礎の設計（基礎の天端 土かぶり100mm以上）	メジャー	1 (合) ・ 否	8	100mm以上
基礎の露出がないこと	目視	2 (合) ・ 否		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具A	3 (合) ・ 否		

【規準一般規定】

落下高さは、幼児用では2,000mm以下	メジャー	2 (合) ・ 否		1150mm
----------------------	------	-----------	--	--------

【劣化】

支柱部

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか（地際部附近）	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)	9,10	
腐食がないか（地際部附近以外）	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)		
ぐらつきがないか	揺診	a) ・ b) ・ c) ・ d)		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a) ・ b) ・ c) ・ d)		

登行部

腐食がないか（地際部附近）（全数点検）	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)	11	
腐食がないか（ササラ・手すり）	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)		
腐食・摩耗がないか（踏板）	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)	12	
ぐらつきがないか	揺診	a) ・ b) ・ c) ・ d)		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a) ・ b) ・ c) ・ d)		

手すり・柵部

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)	13	
ぐらつきがないか	揺診	a) ・ b) ・ c) ・ d)		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a) ・ b) ・ c) ・ d)		

床部

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)	14	
摩耗・へこみがないか	目視・触診	a) ・ (b) ・ c) ・ d)		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a) ・ b) ・ c) ・ d)		

継手金具

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)	15	
ボルトの緩みがないか	打診・触診	a) ・ b) ・ c) ・ d)		
破損・割れ（破損・割れ 0 ケ所）	目視	a) ・ b) ・ c) ・ d)		

プラスチック系部材

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
摩耗がないか	目視	a・b・c・d	16,17	
変色がないか	目視	a・b・c・d		
止め金具が緩んでないか	触診・聴診	a・b・c・d		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		

ロープ・ネット部

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
摩耗・断線・ほつれがないか	目視	a・b・c・d	18	
止め金具が緩んでないか（全数の10%）	触診	a・b・c・d		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		

基礎部・着地面部

ぐらつきがないか	揺診	a・b・c・d		
衝撃吸収材などの破損（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		

滑降部 チューブスライダー

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか（地際部附近）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d	19,20	腐食
腐食がないか（滑降面・側面）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d	21	
摩耗がないか（滑降面・側面）	目視	a・b・c・d	22	
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		

基礎部・着地面部 チューブスライダー

ぐらつきがないか（全数点検）	揺診	a・b・c・d		
衝撃吸収材などの破損（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		

滑降部 カーブスライダー

部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食がないか（地際部附近）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d	23	
腐食がないか（滑降面・側面）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d	24	
摩耗がないか（滑降面・側面）	目視	a・b・c・d		
破損など（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		

基礎部・着地面部 カーブスライダー

ぐらつきがないか（全数点検）	揺診	a・b・c・d		
衝撃吸収材などの破損（破損 0 ケ所）	目視	a・b・c・d		

【規準】

登はん要素

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
手すりの無い太鼓はしご・ネットクライマー・横棒はしご等を付けた時、踊り場側に手すり等を設ける	目視	2 合・否	25	

通行要素

隣り合った踊り場間の段差は幼児用220mm以下	メジャー	2 合・否		
上段踊り場から下段踊り場の落下防止柵等へ容易に登れない高さ・構造とする	目視	2 合・否		

屋根部

屋根に容易に登れない構造とする	目視	3 合・否	26	
-----------------	----	-------	----	--

出発部 チューブスライダー

滑降部と同幅以上、奥行300mm以上の水平部がある	メジャー	1 合・否		
出発部と滑降部との継ぎ目は有害な隙間のないこと	目視	3 合・否	27	

滑降部 チューブスライダー

安全な滑降姿勢が維持でき、確実に着地できる構造	目視	2 合・否		
傾斜角度は45°（60°）以下とし、平均で35°以下とする	傾斜計	2 合・否		
トンネル等の形式では上部に容易に登れないような配慮	目視	1 合・否		

滑降面 チューブスライダー

点 検 項 目	点検器具		判定	写真No.	備 考
安全を阻害するようなへこみや突起物がないこと	触診	2	Ⓐ ・ 否		
利用による摩耗及び衝撃に十分耐えられるものとする	目視	1	Ⓐ ・ 否		
継ぎ目が生じる時は、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2	Ⓐ ・ 否		
チューブ形状は短径580mm以上とする	メジャー	1	Ⓐ ・ 否	28	800mm

側壁 チューブスライダー

内面は安全を阻害するようなへこみや突起物がないこと	触診	2	Ⓐ ・ 否		
---------------------------	----	---	-------	--	--

減速部 チューブスライダー

減速部の長さは安全に着地できる長さとする	メジャー	2	Ⓐ ・ 否		
減速部の末端は丸みをつけるか、曲面で仕上げる	目視	2	Ⓐ ・ 否	29	
傾斜変化部の曲率半径は、R = 750mm以上とする	器具C	1	Ⓐ ・ 否		
着地面から終端上端部までの高さは幼児用100～300mm	メジャー	1	Ⓐ ・ 否	30	200mm

出発部 カーブスライダー

滑降部と同幅以上、奥行300mm以上の水平部がある	メジャー	1	Ⓐ ・ 否		
着座姿勢に導くガイドバーを設ける（落下高さ> 600の時）	目視	2	Ⓐ ・ 否	31	
出発部と滑降部との継ぎ目は有害な隙間のないこと	目視	3	Ⓐ ・ 否	32	

滑降部 カーブスライダー

安全な滑降姿勢が維持でき、確実に着地できる構造	目視	2	Ⓐ ・ 否		
傾斜角度は45°（60°）以下とし、平均で35°以下とする	傾斜計	2	Ⓐ ・ 否		
カーブの場合はバンク等の飛び出し防止対策がある	傾斜計	2	Ⓐ ・ 否		

滑降面 カーブスライダー

安全を阻害するようなへこみや突起物がないこと	触診	2	Ⓐ ・ 否		
利用による摩耗及び衝撃に十分耐えられるものとする	目視	1	Ⓐ ・ 否		
継ぎ目が生じる時は、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2	Ⓐ ・ 否		
有効幅は、幼児用300mm以上、児童用360mm以上	器具C	1	Ⓐ ・ 否	33	360mm以上

側壁 カーブスライダー

1,500mm≧落下高さ> 600mm、側壁の高さ100mm以上	器具C	2	Ⓐ ・ 否	34	100mm以上
継ぎ目が生じる時は、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2	Ⓐ ・ 否		
内面は安全を阻害するようなへこみや突起物がないこと	触診	2	Ⓐ ・ 否		

減速部 カーブスライダー

減速部の長さは安全に着地できる長さとする	メジャー	2	Ⓐ ・ 否		
減速部の末端は丸みをつけるか、曲面で仕上げる	目視	2	Ⓐ ・ 否	35	
傾斜変化部の曲率半径は、R = 750mm以上とする	器具C	1	Ⓐ ・ 否	36	
着地面から終端上端部までの高さは幼児用100～300mm	メジャー	1	Ⓐ ・ 否	37	170mm

特別遊具定期点検表

11730120

(写真No. 1, 2, 3, 4)

管理番号

03

製品名	まりぼん	所在 施設名	東松山ぼたん園	住所	東松山市大谷1148-1		
点検社	株式会社塙製作所			点検日	2023年5月12日		
点検者	安全管理士 塙 保仁(1090064)			確認者	安全管理士 齋藤 伸晃(1100018)		
製造社	タカオ株式会社	S P 表示シール	(有) ・ 無	製品番号	G-43344		
設置年月		経過年月	年 月	落下高さ	400 mm		
構造部材 1	ゴム	構造部材 2		消耗部材			
対象年齢シール	(有) ・ 無	対象年齢	1歳～3歳 ・ 3歳～6歳 ・ 3歳～12歳 ・ 6歳～12歳 ・ 大人				
Ⅰ. 機能に関する総合判定				Ⅱ. 塗装に関する総合判定			
使用継続	(A) : 健全であり、修繕の必要がない B : 軽微な異常があり、経過観察が必要 C : 異常があり、修繕又は対策が必要 D : 危険性の高い異常があり、緊急修繕が必要または、破棄し更新を検討			(A) : 健全な状態 B : 部分的に塗装剥離があり、経過観察が必要な状態 C : 全体的に塗装剥離があり、再塗装が必要な状態 - : 対象無し			
ハザード	① : 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1 : 軽度の傷害をもたらすハザードがある状態 2 : 重大であるが恒久的ではない傷害をもたらすハザードがある状態 3 : 生命に危険、あるいは重度の恒久的な障害をもたらすハザードがある状態			劣化	a : 健全な状態 b : 軽微な劣化がある状態 c : 修繕の必要な劣化がある状態 d : 緊急修繕が必要な劣化がある状態		
特記事項	特に問題ありません。						

【安全領域】

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上。全領域重複可	メジャー	1 (合) ・ 否	5	2000mm以上
上部空間、落下高さ600mm以下 (1,500mm) 600mm超え (1,800mm)	メジャー	1 (合) ・ 否		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 (合) ・ 否		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 (合) ・ 否		

【動線】

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
動線および動線エリアの交差はないか	目視	3 (合) ・ 否		
足がかりや落下した際の障害物はないか	目視	2 (合) ・ 否		

【規準一般規定】 劣化点検のみの場合でも、劣化に伴う規準不適合項目がある場合は特記事項等で報告すること。

①頭部・胴体の挟み込み

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
頭部・胴体の挟み込み (100～230mm)	器具A・B	2 (合) ・ 否		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具A・B	3 (合) ・ 否		

②頭部または首の挟み込み

頭部または首の挟み込み (V字型開口部)	器具A・B	3 (合) ・ 否		
----------------------	-------	-----------	--	--

③指の挟み込み

指の挟み込み (φ8～25mm)	器具E	2 (合) ・ 否		
------------------	-----	-----------	--	--

④絡まり・引っ掛かり

絡まり・引っ掛かり (突出部や隙間)	目視	2 (合) ・ 否		
--------------------	----	-----------	--	--

⑤衝突・転倒

衝突・転倒 (突出部や段差)	目視	1 (合) ・ 否		
衝突・転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 (合) ・ 否		

⑥ボルトナット類による突起

引っ掛かり防止対策	目視	1 (合) ・ 否		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 (合) ・ 否		

⑦鋭利な尖端・角・縁

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
鋭利な尖端・角・縁	目視・触診	1 (合) ・ 否		

⑩救助対策

救助対策	目視	1 (合) ・ 否		
------	----	-----------	--	--

⑪基礎の設計

基礎の設計（基礎の天端 土かぶり100mm以上）	メジャー	1 (合) ・ 否	6	マット有り
基礎の露出がないこと	目視	2 (合) ・ 否		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具A	3 (合) ・ 否		

【規準一般規定】

落下高さは、幼児用では2,000mm以下	メジャー	2 (合) ・ 否		400mm
----------------------	------	-----------	--	-------

【劣化】

部品・化粧材部 ゴムクッション

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
部位全景（外観状況・落下高さ等）	目視			
腐食・腐朽がないか	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)		
摩耗・へこみがないか	目視・打診	a) ・ b) ・ c) ・ d)	7	
破損（破損 0 ヶ所）	目視	a) ・ b) ・ c) ・ d)		